

災害に強いまち鶴舞学区をめざして

昭和区鶴舞学区 震災避難行動マップ

この震災避難行動マップは名古屋市が公表した「南海トラフ巨大地震の被害想定」をもとに、大規模地震が発生した場合を想定して、鶴舞学区のみなさんが、お住まいの地域の危険箇所や避難経路などについて話し合い、作成したものです。

この震災避難行動マップをもとに、"いざ"という時どんな行動をとればよいのか日頃から考えておきましょう。

このマップで示す避難ルートは、ハザードマップ等を参考に作成したルートであり、災害時の安全性を保証するものではありません。災害時には状況を確認しつつ、安全なルートで避難してください。

気を付けて!!

1. 空き家

耐震性が低いと倒壊しやすく、無人のため火災延焼の危険があります。

2. 古いブロック塀

大きな地震では倒壊する危険があるため近づかないようにしましょう。

3. 狭い道

近くの家が倒壊した時、道がふさがれて通りにくくなる可能性があります。

4. 住宅密集地

火災が発生すると強力な熱風が舞うとともに、火災延焼の危険が非常にあります。

5. 電線（高圧線）

切れた電線は停電時でも感電の危険があります。絶対に近づかないでください。また、高圧線の落下にも注意しましょう。

指定避難所一覧（備蓄倉庫設置）

- ① 鶴舞小学校
- ② 北山中学校
- ③ 鶴舞コミュニティセンター
- ④ 名古屋市公会堂

【地域の避難先例】

自宅に住めない場合は、鶴舞小学校に避難しましょう。

（お願い）

自宅の被害が少ない場合は、なるべく自宅で生活しましょう。

高齢者や障がいのある方など、自力で避難が難しい方は、地域で協力して避難先へ誘導しましょう。

消防団器具庫（ゲートボール場）
※スタンドパイプ保管

役に立つもの みんなでチェックしよう

1. コンビニエンスストアなど

このステッカーの貼ってある店舗は、「災害時帰宅支援ステーション」として、公共交通機関が不通となったとき、徒歩で帰宅しようとする人たちを支援する店舗です。トイレや避難スペースの提供など災害時に可能な範囲で支援協力が得られます。

2. 災害救援自動販売機

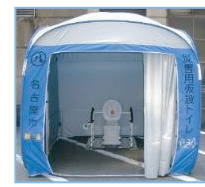
対象となる自動販売機には、停電時でも飲料提供ができることが説明された看板がついています。

3. 下水道直結式仮設トイレ

マンホールに直結できる仮設トイレです。避難所のトイレ不足を補います。



このマンホールが目印です



(株)第一塗装

天理教 愛知教務支庁

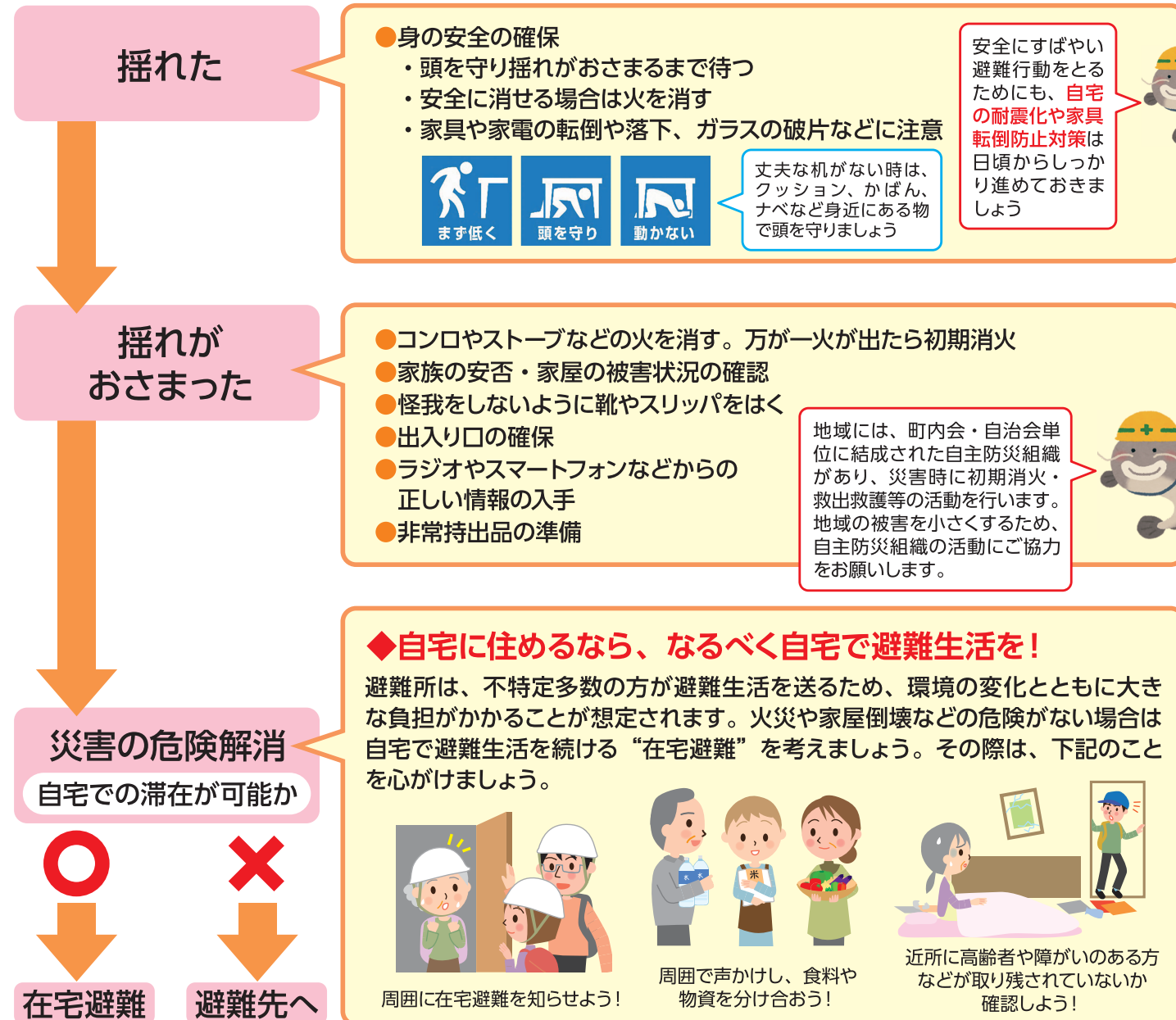
GLASTONIA

● 凡例	指定避難所 家屋の倒壊などにより住居に被害を受けた方、あるいは被害を受けるおそれのある方を、一時的に受け入れ、滞在させるための施設です。	防火水槽	地下式給水栓	仮設給水栓	学区境
AED (自動体外式除細動器)	下水道直結式仮設トイレ (マンホールトイレ)	地域防災協力事業所	交番	公衆電話	避難経路の例
			病院		

昭和区鶴舞学区 災害時の特性と対策

南海トラフ巨大地震が発生した場合、名古屋市の中でも比較的強い**震度6強ないし6弱**の揺れが想定されます。まずは身を守りましょう。このときに怪我をしないよう、日頃から家具の転倒防止などの耐震対策に努めましょう。**揺れがおさまった後、自宅が被害を受けたかまたは受けるおそれがある場合は適切な避難を行いましょう。液状化現象**が起きる可能性が高い箇所が広がっています。建物が傾いたり、路上に泥水が溢れ出し、通ることができなくなります。これらのことを踏まえ、適切な避難先と、そこまで安全にたどり着くための経路をあらかじめ考えておきましょう。

地震発生！ 災害時の対応



◆避難先へ安全に避難するための5つのポイント

- ① ガス・水道の元栓を締め、ブレーカーを切る！



② 近所への声かけ！



③ 高齢者や障がいのある方などの避難誘導を！



④ 原則徒歩で！（渋滞抑止・高齢者や障がいのある方などの避難を妨げない）



⑤ 二次災害に気を付けながら消火・人命救助の手伝いを！



一人では逃げられない方への対応

過去の災害では、周囲からの「声かけ」と「避難の手伝い」が、高齢者や障がいのある方などの避難行動を早めました。日頃から一人で逃げられない方を把握し、地域みんなで、いち早く避難行動が取れるよう協力しましょう。

情報の入手や判断が難しい方

(例えばこんな方)

目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障がいのある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など

(対応方法)



移動が難しい方

(例えばこんな方)

普段、杖・押し車・車椅子などを使っている人、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦さんなど

(対応方法)



協力して安否確認をしましょう



大災害の際には、隣近所で安否の確認をし合い、早期に被災者を発見し、救出につなげることが大切です。

ドアノブなど玄関付近の外から見えやすいところに掲げましょう。

災害時は安否確認札の
掲出にご協力ください

☐ 電気(ブレーカー)
☐ 火の元(ストーブ)
☐ ガス(元栓)
 上記チェックしました

メモ欄(避難先など)

鶴 舞 学 区